

あさひ コミュニティだより

編集責任者
あさひコミュニティ
推進協議会
発行責任者
澤口茂利
編集責任者
勝見眞久

ゆめまちの
ホームページは
「ゆめまち 小山」
で検索してください

新型コロナウイルス感染症の影響

あさひコミュニティ推進協議会
事務局長 木村和子

2019年12月頃から世界中に蔓延した「新型コロナウイルス感染症」の影響で、「ゆめまち」も一時期小山市から休館の指示を受け、多くの利用者に活動をご遠慮いただくことがありました。

2020年度は感染防止のため、計画していたコミュニティ活動はゆめまちコミュニティ祭りを始め殆どが実施出来ませんでした。

コミュニティセンター「ゆめまち」の部屋利用率は42%と2019年度の61%に対し大幅に落ち込みました。臨時休館や高齢のメンバーが多いサークルの活動自粛等によるものでした。

館では感染防止のため、消毒液の配置、消毒の徹底、CO2メーターの導入、対面遮蔽板の準備等、感染拡大防止対策を進めた上で、サークルごとに、各々の感染拡大防止策の提出を求め、受け身でなく能動的に感染の広がりを防ぐ意識を持っていただいています。

このところ、ロビーやプレイルームの開放を希望する利用者も多いのですが、双方とも密が避けられないため、いまだに「利用禁止」としてあります。

今は、早く感染拡大が治まり、元通りの「ゆめまち」が戻ってくることを、会長以下、役員、館スタッフ、事務局一同心より願っています。



第46回定期総会

今年5月17日に総会開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症防止のための緊急対応で、集合しての総会は開催不能となりました。

そこで、昨年に続いて、議案を面で審議し、承認していただく方法を探ることいたしました。

議決権保有者全員に賛否をお聞きしました結果、「反対」無しで可決されました事を、「報告」いたします。本年度の役員は左記の通りとなります。(*は新任の方を示す)

- | | |
|------|-------------|
| 会長 | 澤口 茂利(旭町東) |
| 副会長 | 今野 政春(旭町東) |
| 副会長 | 佐藤 義数(大聖寺) |
| 副会長 | 伏木 耕作(稲荷町) |
| 副会長 | 覚本 徹(旭町南) |
| 副会長 | 大塚 稔(旭町南) |
| 理事 | 根岸 彰雄(旭町東) |
| 理事 | 新井 隆(天神町) |
| 理事 | *長谷川 一(旭町西) |
| 理事 | 寺本 孝雄(緑町) |
| 理事 | 中村 達彦(南城南) |
| 理事 | *高久 恵子(城南F) |
| 理事 | 三浦 淳三(通宿東) |
| 理事 | 田中 春水(末広町) |
| 理事 | 嶋田 積男(三峯) |
| 各部部長 | 各部部長 |
| 理事 | 嶋田 積男(三峯) |
| 事務局 | 事務局 |
| 総務部 | 総務部 |
| 部長 | 滝沢 洋子(大聖寺) |
- | | |
|-----|-------------|
| 副部長 | 藤田 里美(通宿東) |
| 副部長 | 廣澤 克則(旭町東) |
| 部長 | 江原 輝雄(大聖寺) |
| 副部長 | 智田 信夫(旭町南) |
| 副部長 | 小堀 行則(天神町) |
| 部長 | 田中 瑞恵(大聖寺) |
| 副部長 | 望月 幸子(旭町東) |
| 副部長 | 関 比佐江(旭町南) |
| 部長 | 渡辺久美子(旭町東) |
| 副部長 | 栗林 庸子(旭町東) |
| 副部長 | 竹内ツナ子(緑町) |
| 部長 | 渡辺 一夫(旭町南) |
| 副部長 | 三田 清(大聖寺) |
| 副部長 | 石本 幸(旭町東) |
| 部長 | 勝見 眞久(旭町西) |
| 副部長 | 岩下 勝彦(旭町南) |
| 副部長 | 大阿久憲一(大聖寺) |
| 部長 | 大江 順子(旭町東) |
| 副部長 | 堀井 信行(通宿東) |
| 副部長 | 柿沼 俊明(大聖寺) |
| 部長 | *木村 和子(緑町) |
| 副部長 | 大塚 学(旭町東) |
| 副部長 | 小仁所一恵(旭町南) |
| 副部長 | 飯田 千冬(旭町南) |
| 副部長 | 山口 寛昌(旭町南) |
| 副部長 | *橋本 明美(旭町東) |

参考
あさひコミュニティ推進協議会は現在の15の自治会で構成されています(2021年5月25日現在)

自治会名	会長	世帯数
駅東二丁目	根岸 彰雄	566
駅東	澤口 茂利	1018
駅南町	覚本 徹	652
天神町(神山)	新井 隆	78
旭町東	今野 政春	888
旭町西	長谷川 一	524
旭町南	大塚 稔	1772
稲荷町	伏木 耕作	240
緑町	寺本 孝雄	301
大聖寺	佐藤 義数	510
南城南	中村 達彦	62
城南FP	高久 恵子	96
通宿東	三浦 淳三	967
末広町	田中 春水	130
三峯町	嶋田 積男	100
15自治会の合計		7,904

近隣自治会の新たな参加をお待ちしております

あさひコミュニティ 45周年に寄せて

あさひコミュニティ推進協議会
会長 澤口茂利

1971年(昭和46年)に自治省(当時)が、地域住民が共同で解決すべき課題に対して住民の組織が必要であるとして「コミュニティ」の創設を提案し、「モデルコミュニティ指定事業」を開始しました。これを受けて小山市では旭小学校の通学区域で小山市の東部に位置し、概ね平坦な土地で宅地・工場用地として恵まれた条件を備え、人口の急激な都市化によって地域活動が希薄になり、新旧住民融和やゴミ収集所の設置等の課題が生まれていた「旭地区」にモデル地区指定を提案し、1976年(昭和51年)旭地区と近隣の11自治会が中心となり、行政の支援も得て、「旭地区モデルコミュニティ推進協議会」が発足することになりました。

発足当時は環境美化、コミュニティだよりの発行、盆踊り、ウォーキング等々の活動に高齢者壮年部、婦人部、青年部、子供部と、年代別の活動が中心でしたが、その後、「おまつり広場」で演技や作品が展示され、ゲートボールやソフトボール大会、料理や手芸講習会等を開くにつれ、古くからの住民だけの近所つきあいから新しい住民を含めた地区全体の付き合いへと広がり、新旧住民の融和へとつながってきました。

その後、1978年(昭和53年)県道下野小山線が水戸線を越える陸橋下の「小山市コミュニティセンター」の落成、1999年(平成11年)には現在のゆめまちの多目的広場にあった旧国道事務所跡地への移転、組織の変更や名称の変更を経て現在の「あさひコミュニティ推進協議会」が確立され、活動の活発化により地域の人たちの交流の場として益々定着してきました。

1986年(昭和61年)から毎年開催してきた「おまつり広場」は1997年には「コミュニティ祭り」へ

2016年以降は「ゆめまちコミュニティ祭り」として内容を充実して現在に至っています。組織については執行部(本部会)を設置し、毎年安定した活動が営めるようになりました。

2011年(平成23年)に「(仮称)城南地区中心施設」の建設を進めていた小山市から管理運営を担う指定管理者となることを打診されました。経験のない事業の開始について推進協議会内で種々検討の結果、受諾することとなり2013年(平成25年)から小山市小山市城南出張所と小山市コミュニティセンターの併設施設として地域の皆様、小山市の支援を受けて指定管理理しています。

当会は地域に根ざすコミュニティ団体として、また全市民を対象とした市の施設の管理者としての二つの側面を融合しながら、活動を進めて参ります。併せてご利用の皆様のご意見を反映しながら、公平な運営と未永く綺麗に保つことによりゆめまちを心地よく利用いただけるよう努めて参ります。

45周年クリアファイルを市長へ贈呈(2月18日)



左よりコミュニティ推進協議会 木村事務局長、浅野正富小山市長、コミュニティ推進協議会 澤口会長、コミュニティ推進協議会 伏木副会長



裏 45周年クリアファイル 表

なお、45周年を記念した事業は新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮して上記の3代のコミュニティセンターの写真を使ったクリアファイルを制作し、会員全戸にお配りいたしました。

注:この記事は本来今年4月発行予定の「コミュニティだより」に掲載予定でしたが、コロナ禍のため発行中止となりましたので、今号に掲載いたしました。